

12月のアーティスト



みんな

吉田 侑平 くん
ときわだい保育園 6歳



おたのしみかいの創作劇「みんなのゆめをかなえよう」の様子だよ。シャボン玉に入っていると、雲や虹の橋に乗っているところを描いたよ。

の 広 場

この人に聞く Spotlight

No.233

また来てね！その一言が活動の原動力

伊藤 宣子 さん



「読み聞かせは、心を豊かにしてくれる、やさしい時間」。そう語るのには、読み聞かせボランティア団体「十二支会」の3代目会長の伊藤宣子さん（飯豊・74歳）です。退職後の交流の場づくりのために別の読書ボランティア活動へ参加していった頃、読み聞かせをさらに学びたいと思い、十二支会の活動を見学。そこで前会長から声をかけられたことが、同会での活動を始めるきっかけになりました。「本を読んであげたい」という気持ちが一層強まった」と振り返ります。

地域の高齢者の集まりなど、幅広い世代に本の魅力を届けられました。「また来てね」と言われる瞬間が、何よりのご褒美」と伊藤さん。子ども向けには色彩のはっきりした絵本や大型紙芝居を使い、「何か一つでも感じてくれたら、それで十分。また聞きたいと思ってくれたら九十九点」と穏やかに話します。高齢者向けには地元の昔話や伝説を、訛りを残して語ることで特に喜ばれるそう。相手の表情を見ながら読むことで「その反応が伝わってくるので、うれしい」と笑顔を見せます。

こうした長年の活動が称えられ、同会は11月に、第58回全国優良読書グループとして表彰されました。伊藤さんは「長い年月を積み重ねてきた先輩方のおかげ」と語ります。会員も喜んでいて、もっと頑張ろうとモチベーションが高まったといいます。

読み聞かせからつながりが生まれてほしいと願う伊藤さんが、自然に声をかけ合える一そんな温かな場を目指し、今後、新しい仲間を募集しながら、会員同士のチームワークを大切に、活動を続けます。

No.297

みんなの詩歌



※掲載作品は日本現代詩歌文学館内に展示しています。

午後一番師の声誘う揺れる視界夢と現実行き来するま

山辺 結友

西日さす和室に四人・週二回おしゃべり響くお茶が冷めても

小原 美涼

食らいつけ九回の裏ノアアウト最後の夏はまだまだ続け

小山 丈太郎

キラキラの部活終わりの女子会とラストステージ胸に抱いて

加藤 伶菜

大飛球遙か頭上を越えていく青空見上ぐ夏の終幕

齋藤 立騎

専修大学北上高校三年

おらはの愛どる



小田嶋 結天 くん 蒼天 くん
令和6年9月21日生まれ 令和4年9月4日生まれ
(鬼柳町)

いつもみんなを笑顔にしてくれるそらとゆら♡元気いっぱいびのびのびと大きくなってね！



菊池 むぎ ちゃん
令和7年3月30日生まれ
(上江釣子)

笑顔が可愛いむぎ♡パパとママを選んで生まれてきてくれてありがとう♡



申し込みフォーム

どんなクラス？

協力し合い、助け合える（風優）
にぎやかで元気（悠平）
明るいクラス（祐）
先生が授業を分かりやすく教えてくれる（圭吾）
優しく、明るい先生がいる（悠夏）
「感謝の会」の取り組みを頑張っている（佳那）

担任 鈴木先生からのメッセージ

レクを汗だくで楽しみ、難しい学習も最後まで頑張る5年2組。学級のまとまりが出てきて、さらに成長を感じます。たくさん挑戦して、みんなで力をつけよう。

12月のクラス 鬼柳小学校 5年2組

